

CMで伝える地域自慢コンテスト

笠岡市立笠岡西中学校長 森下泰治

1月29日（日）に、笠岡市保健センターで、「CMで伝える地域自慢コンテスト」が開催されました。今年度は本校からの出場はありませんでしたが、どんな様子かを見に行ってきました。

小学校4校・5チーム、中学校3校・4チームが出場し、それぞれ素晴らしいプレゼンテーションと作品を見せてくれました。

この行事は、今年度と来年度・再来年度の3年間で市内すべての小中学校が参加することを想定しており、来年度は笠岡西中も参加する可能性が高いと思います。3年間で最も優れた作品にはグランプリが授与されるということです。情報収集力や情報発信力を高めるためにも、このコンテストを上手に活用してほしいと思います。

コンテストの最後に、元TBSアナウンサー・ジャーナリストの下村健一さんのミニ講演がありました。非常に参考になったので、概略をここに紹介します。

演題 「学校教育でCM制作に取り組む『本当』の意味」

- SNS で世界に発信できてしまう時代になった。そのプラス面もあればマイナス面もある。そういう意味でこの取り組みは意味がある。
- CMで伝える 地域自慢コンテスト
- 「地域」→人とのふれあいも含めて地元を知ること、そのためには情報の仕入れ方を知ることが大切。
- 情報の仕入れ方
 - (1) 好奇心をもつこと
 - (2) 4つのギモン（疑問）を大切に
 - ① 事実かな？ 印象かな？（ゴッチャにしてウのみするな）
 - ② 他の見方もないかな？（1つの見方にかたよるな）
 - ③ 何が隠れているかな？（スポットライトのまわりを見よ）
 - ④ まだ、わからないよね？（結論を急ぐな 簡単に決めつけない）
- 「伝える」→伝え方を知ること、そのためには、情報の出し方を知ることが大切。
- 情報の出し方
 - (1) 4つのジモン（自問）を大切に
 - ① 何を伝えたいの？ = 明確さ
 - ② キメつけてないかな？ = 正確さ
 - ③ キズつけてないかな？ = 優しさ
 - ④ これで伝わるのかな？ = 易しさ
 - ※ 悪意なき加害者にならないために特に②③が大事
 - (2) 情報を仕入れ、届けるために必要な3つの想像力
 - ① 情報への想像力（メディアリテラシー）
 - ② 他者への想像力（関心をもつ = 自分事化）
 - ③ 未来への想像力（最善を夢見る力・最悪に備える力）
- 情報の出し方の工夫はどこから生まれるか？
「ルール」でも「秘密ワザ」でもなく、「親切、思いやり」
つまり、常に情報の受け手のことを考えること